

日本学術会議 法学委員会 セーフティネットと法分科会（第25期・第6回）議事要旨

日時 : 2022年3月30日(水) 13:00-15:40

開催場所: オンライン会議 (Zoom ミーティング)

出席者 : 和田肇、秋元美世、有田謙司、魚住明代、小澤隆一、笠井修、片桐由喜、亀本洋、川嶋四郎、只野雅人、豊島明子、内藤忍、糠塚康江、橋本祐子、廣瀬真理子、本庄武、丸谷浩介、矢野昌浩 (敬称略)

欠席者 : 岩永理恵、山田八千子 (敬称略)

議事要旨

1 コロナ禍におけるイギリスの雇用維持・所得補償政策について

有田謙司委員より、「コロナ禍におけるイギリスの雇用維持・所得補償政策」と題する報告がなされた。イギリスでは、2020年4月にコロナウイルス法(Coronavirus Act 2020)に基づいて、ロックダウンにより自宅待機中の従業員の賃金補助(コロナ雇用維持スキーム CJRS)と、個人従業者に対する所得補償制度(SEISS)が導入され、2021年9月末に終了した。これらの制度をめぐるイギリスの議論(根拠法、既存の労働法制との整合性、CJRSの最低賃金の問題、賃金保障の対象となる賃金の範囲、解雇規制との関係等)の論点を整理し、緊急時における雇用維持・所得補償政策の課題を論じた。イギリスの政策を参考として、日本では迅速な所得補償を実施することなどを始めとする、緊急時の体制を整備する必要性のあることが指摘された。質疑応答は活発に行われ、対応を担う省庁間の連携の在り方や、労働者の権利保障の明確化等の質問に対し、詳しい説明が加えられた。

2 『学術の動向』3月号について

只野雅人委員より、「『学術の動向』3月号企画: コロナ禍と法の紹介」と題する報告がなされた。2021年12月号の特集「コロナ化と現代社会」とは異なり、3月号は法律学・政治学の視点から論じた特集である。憲法学の専門家である糠塚委員、小澤委員、只野委員が構成を検討した。只野委員による「特集の趣旨」の説明がなされた後、5本の論文、「コロナ禍の公衆衛生」(重田委員)、「生の政治と身体的自由」(江藤委員)、「保健所等による配給・統制経済の限界」(金井委員)、「新型コロナウイルス感染症対策と法」(磯部委員)、「コロナ禍における多様な規制手法とその制御のあり方」(松尾陽委員)の要旨について簡潔な説明が加えられた。

3 分科会見解の構想と今後の計画について

和田肇分科会長より、「雇用・就業と生活保障のセーフティネットの再構築—『見解』の構想案」と題して、本分科会が表出する「見解」の構想について報告がなされた。まず、本分科会の検討結果を議論喚起的な意見として示すことのできる「見解」として表出し、「見

解」のテーマを「雇用・就業と生活保障のセーフティネットの再構築」とすることとし、雇用・就業と生活保障に関するセーフティネットについて、コロナ禍で発動され、または十分にそれに対応できなかった制度を中心に取り纏める方針が提案された。その上で、コロナ禍が雇用・就業・生活に与えた影響（ジェンダー関連、雇用状況、生活保護・生活困窮者自立支援、学生の生活等）、コロナ禍で発動されたセーフティネット（各種助成金と立法、雇用保険法のセーフティネットとしての欠点、雇用調整助成金の欠点、雇用保険料の変動の問題）、非正規雇用のセーフティネット（雇用セーフティネット、有期労働契約の雇用安定）、フリーランスのセーフティネット（「雇用類似の者」とセーフティネット、「雇用類似の者」に対する政府の政策、フリーランスと労災保険の特別加入制度、フリーランスへの雇用保険の拡大）、立法政策の課題（コロナ対策関連法と立法の在り方、法治主義からの疑問）について、各々の現状と課題が報告された。最後に、「見解」の具体的な構成案と、来年3月の完成に至るまでのスケジュール案が示され、また、次の26期にも議論を続けることを念頭に、次期のテーマとして「全世代型社会保障の課題」と「社会システムとセーフティネット」の2案が示された。

報告後の議論では、ポストコロナのあり方を考える「見解」とすることが確認され、「見解」の構成と分担はおおむね以下のとおりとし、草案段階では分科会に外部の方を招いて意見を聴く機会も設けることが確認された。

・テーマ「雇用・就業と生活保障のセーフティネットの再構築」

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1 本見解の目的                             | 廣瀬／和田       |
| 2 コロナ禍の雇用・就業・生活に与えた影響                | 和田／矢野／内藤／岩永 |
| ①コロナ禍の影響 ②リーマンショック等、これまでの経済危機の影響との異同 |             |
| ③ジェンダー ④生活保護関係                       |             |
| 3 コロナ禍で発動されたセーフティネット                 | 和田／矢野       |
| 4 セーフティネットの憲法規範                      | 小澤／憲法学      |
| 5 セーフティネットとベーシック・サービス、ベーシックインカム      | 秋元          |
| 6 雇用におけるセーフティネットの再構築                 | 有田／丸谷       |
| ① 非正規雇用の包摂 ②有期雇用の法政策と課題              |             |
| ③フリーランスのセーフティネット                     |             |
| 7 生活保護と生活困窮者自立支援の在り方                 | 廣瀬／岩永／片桐    |
| 8 セーフティネットにおけるジェンダー視点                | 内藤          |
| 9 社会的脆弱性を有する者の処遇                     | 魚住          |
| ①一人親家庭 ②障害者                          |             |
| 10 立法の在り方、法治主義                       | 豊島          |

以上